

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あおきの里

目標達成計画

作成日: 平成 22年 5月 26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族と本音で話し合い、ホーム運営に反映させていく。	利用者と職員が今以上に馴染みの関係を深め、家族との信頼関係を構築し、要望や意見を聴いていく。また、家族だけで話し合える場を設け、共通の悩みを持つ家族とホームが本音で話し合える関係をつくる。	12ヶ月
2	37	災害対策	地域の協力を得て、全職員が参加し、避難誘導や消火方法の訓練を実施する。また、夜間帯に、職員全員が参加しての訓練や非常災害時の備蓄の準備。	年2回の防災訓練以外にも、自衛消防による訓練を積極的に実施する。また、非常災害時、電気、水道、ガスが使用できない状況での非常食、飲料水、毛布等の備蓄。	6ヶ月
3	36	急変や自己発生時の備え	全職員が急変時の応急手当てが出来るような訓練と、マニュアルにそっていつでも、冷静に対応出来る訓練の実施。	消防署の防災訓練の中に取り入れたり、内部研修会の中で、看護師による応急手当ての実施訓練等を定期的に行い、全職員に経験を積んでもらい、実践に向けた取り組みを実施し、何があってもあわてず冷静に対応出来る体制をつくる。	6ヶ月
4	4	運営推進会議を活かした取組	会議を2カ月毎に年6回定期的に行い、委員からホーム運営や介護に関して意見や質問等を出してもらい、評価結果に関してモニター役になってもらう。	次回開催と議題を会議の時に報告し、積極的に参加してもらえるようにする。また、会議がマンネリ化しないように議題や行事等を工夫し、参加者が有意義で満足感を持ってもらえる工夫を考慮していく。	ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。